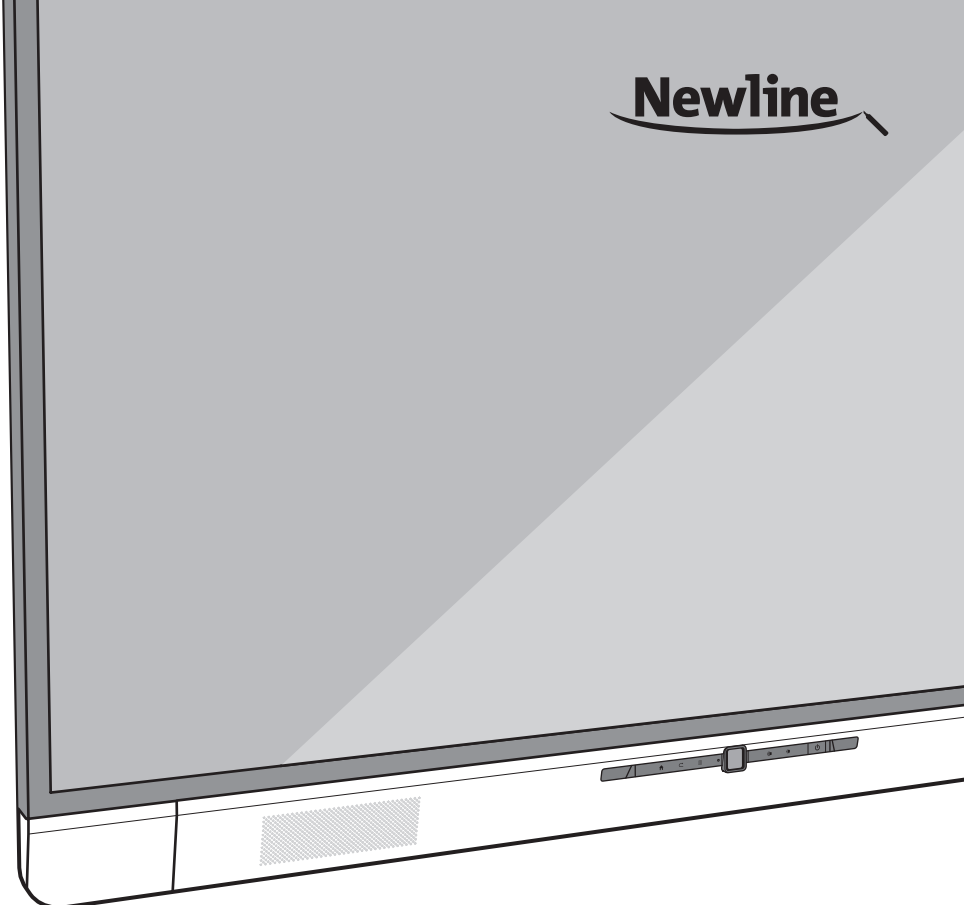




Newline

TRU TOUCH *X5*

コラボレーション
タッチスクリーン

取扱説明書

コラボレーションタッチスクリーン Newline X5 をお買い上げいただきありがとうございます。

ご利用の前に本書を必ずよくお読みください。
また、本書は大切に保管をしてください。

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

本製品を製品寿命などで廃棄するときは、リサイクルに関する法律や条例に従ってください。乾電池や充電電池を他の家庭ゴミと一緒に処分しないでください。乾電池や充電電池は自治体が指定した方法でリサイクルしてください。環境保護にご協力ください



目次

本書に関して	01
ご使用の前に	02
A. 本製品に関して	05
本製品に関して	05
各部名称	05
入出力ポート	06
リモートコントロール	09
B. 製品の設置に関する注意	11
安全に関する注意	11
設置に関する注意	12
設置	14
C. 使用準備	15
電源の投入	15
電源を切る	16
コントロールパネルのインジケーション	17
キャリブレーション	18
D. タッチスクリーンの操作	21
ホーム画面	21
ミーティングアシスタント	22
ホワイトボード	26
入力信号	33
外部メモリー	35
ミーティングの終了	38
設定のショートカットおよびアプリケーション	42
E. シリアルポートコントロール	47
F. 製品仕様	50
G. 同梱品リスト	53
H. よくある質問	54
I. 最新の情報に関しては	56

本書に関して

本書は製品に関する様々な機能の紹介、注意事項、インストラクションなどを含んでおります。

特に注意が必要な箇所は記号とともに記されております。

各記号は下記を表しております。:

 NOTE	メインの文章に追加して、操作に関する追加情報が示されています。
 TIP	操作に関するヒントが紹介されています。
 注意	誤った方法で操作をおこなった場合に、機器の破損やデータの損失、パフォーマンスの低下など、予期せぬ結果を招く恐れがある注意すべき事項が示されています。

ご使用の前に

製品を安全にご使用頂くために、ご使用前に下記のインストラクションをご確認ください。誤った製品の使用法は怪我や事故の元になります。

また、感電を避けるためにむやみに分解しないでください。必ず認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。

 WARNING	
	重大な症状が見られた際には必ず本製品の電源を抜いてください。重大な症状には下記が含まれます。 ・ 発煙、焦げたような匂い、異音などが本製品から発生している ・ 画面が映らない、音が出ない、画面にエラーが生じている。 上記の症状が見られた場合には、製品の使用を直ちに中止し、コンセントからケーブルを抜いた後に、認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。
	液体や金属、可燃性のものを本製品内部に入れないでください。 ・ もし、液体や金属などが入ってしまった場合、ただちに電源を切り、コンセントからケーブルを抜いた後に、認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。 ・ 製品の使用時に周りに小さな子供がいないか注意してください。 電源ケーブルにダメージを与えないでください。 ・ 電源ケーブルに傷をつけたり、変更したり、ねじったり、曲げたり、過度な力を加えないでください。 ・ 電源ケーブルに製品本体など重いものを乗せないでください。 ・ 電源ケーブルを取り外す際に過度な力で引っ張らないでください。もし、電源ケーブルにダメージがある場合は製品の使用をただちに中止し、コンセントからケーブルを抜いた後に、認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。 製品を安定した平らな場所に設置してください。 ・ ぐらぐらしたスタンドや机の上など不安定な場所へ設置は製品が倒れるなどして、事故や故障の元となります。 電池は正しくご使用ください。 ・ 誤った方法で電池を使用すると、液漏れ、腐食、火事などの原因となります。必ず指定された種類の電池をご使用の上、正しい方向に入れてください。 ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。 ・ 長期間にわたり使用しない場合、電池をリモコンから取り外してください。 ・ 直射日光の当たる場所や日の近くなど、高熱の場所に電池を放置しないでください。 ・ 地方の条例等に従い電池を廃棄してください。



WARNING

	本製品を分解、改造しないでください。 本製品の内部は高電圧です。感電の危険がありますので、本製品の検査やメンテナンスの際には必ずサービス担当者にコンタクトしてください。
	必ず指定の電源でご使用ください。 - 本製品に付属している電源ケーブルを必ずご使用ください。他のケーブルを使用すると製品の故障や事故の原因となります。 - 付属の電源コードは当該製品専用です。他の機器に使用しないでください。 - 必ずアース接続をおこなってください。 - 長時間にわたり使用しない場合、本製品の電源を抜いてください。 本製品を移動する場合、必ず全ての外部機器との接続をはずしてください。 - 製品を移動する際にはぶつけたり、過度な圧力が加えたりしないように気をつけてください。特にディスプレイ部分にダメージが加わると故障や怪我の原因となります。 定期的に製品のメンテナンスを行い、ホコリなどを取り除いてください。 - クリーニングの際には必ず電源を切ってから本体の電源ケーブルを抜き、乾いた布でおこなってください。 - お手入れの際には柔らかい乾いた布でから拭きしてください。湿った布や化学雑巾などでは絶対に拭かないでください。
	製品の上に物を置かないでください。 - 製品の上に、花瓶や液体など置かないでください。 - 本製品に液体が入ってしまった場合、製品がショートし、火事や感電の原因となります。 - 本製品に乗ったり、物をかけないでください。
	本製品を不適切な場所に設置しないでください。 - 浴室など高温多湿の場所、シャワールーム、雨がかかる可能性のある窓際、室外などに設置しないでください。 - 温泉などの蒸気が当たる場所に製品を設置しないでください。不適切な場所への設置は感電や火事などの事故の元になります。 - 火元の近くに本製品を設置しないでください。また、キャンドルなど火のついた物を製品の近くに置かないでください。
	雷の際には本製品をコンセントから外してください。 - 感電の原因になるため、雷が鳴っている時には本製品を触らないでください。 - 高圧になる製品は小さな子供が届かない場所に設置してください。
	濡れた手で触らないでください。 濡れた手で電源ケーブルを触らないでください。感電の原因となります。



WARNING



本製品の通気部分を塞がないでください。

- ・ 本製品に使用している部品が高温になり、火事や故障などの原因となります。
- ・ 通気部分を下向きに設置しないでください。
- ・ カーペットやベットシートなどに製品を設置しないでください。
- ・ テーブルクロスなどの布で本製品を覆わないでください。



CAUTION



本製品を高温の場所に設置しないでください。

- ・ ストープなどの高温が発生する場所の近くなどに本製品を設置しないでください。
- ・ 直射日光が当たる場所へ本製品を設置しないでください。本製品が高温になり、故障の原因となります。



輸送に際して：

- ・ 本製品の輸送の際には移動性やメンテナンス性を考慮し、本製品が入っていたカートン及び緩衝材をご使用ください。
- ・ 本製品を移動する際には必ず製品を垂直にして運んでください。間違った方向で運ぶと思わぬ故障の原因となります。



ラジオや強い電磁波の発生する製品の近くでご使用しないでください。

本製品は防磁処理が施されていますが、強い電磁波に影響する可能性があります。ノイズが発生した際には下記をお試しください。

- ・ ラジオのアンテナの方向を調整してください。
- ・ 本製品からラジオを離してご使用ください。

ご使用の際に：

- ・ 目の保護のために、明るい場所で本製品をご使用ください。暗い場所や極端に明るい場所は目を痛める恐れがあります。
- ・ 長時間視聴後には目を休めてください。
- ・ 画面を見る際には、本製品の設置している高さの3～7倍の距離でのご使用を推奨しております。
- ・ 特に夜などは音量にご注意ください。
- ・ アンプを音声入力ソースとしてご使用の際にはご注意ください。アンプを使用する場合、入力がスピーカーの最大出力を上回らないようにご注意ください。スピーカーの故障などの原因となります。

結露（つゆつき）について：

- ・ 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させた時や、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露が無くなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります。（結露を防ぐため徐々に室温を上げてください）

A

本製品に関して

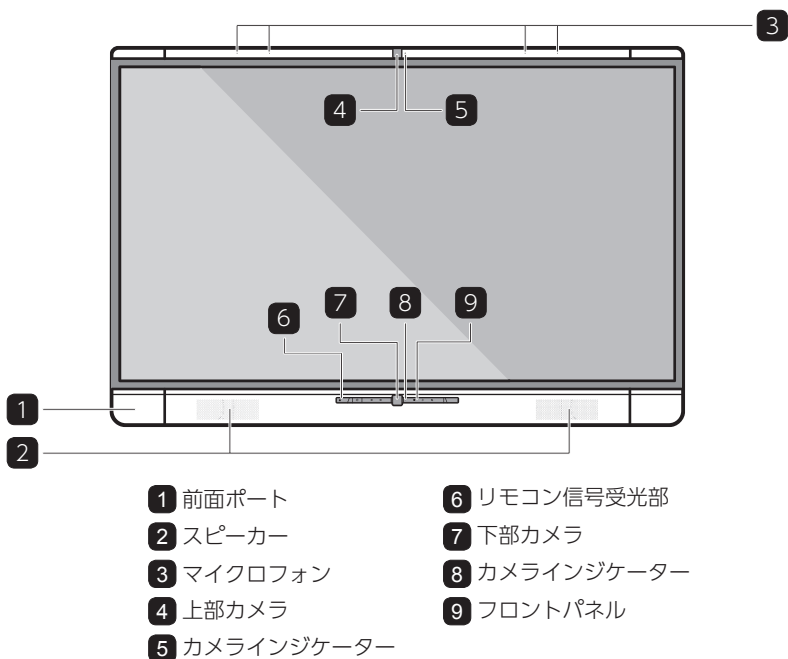
本製品に関して

本コラボレーションタッチスクリーンは、赤外線遮断方式タッチパネルを搭載し、ビデオ、オーディオ、手書き入力、マルチメディアプレゼンテーション機能を搭載したオールインワンデザインです。

専用ソフトウェアはミーティングをサポートするために設計されており、ドキュメントへの直感的な操作による手書きコメントの挿入や、遠隔地との多拠点でのテレビ・音声会議の開催など様々な形でのミーティングの効率化を実現します。

各部名称

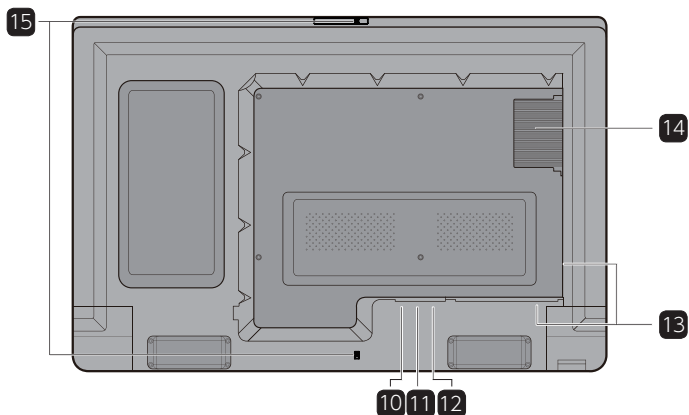
◆前面



Note

- 上下のカメラは同時に使用することはできません。
- 使用している側のカメラのインジケータランプが白く点灯します。

◆背面



- | | |
|-------------------|---------------|
| 10 温度センサーリセットスイッチ | 13 背面ポート |
| 11 主電源スイッチ | 14 OPS スロット |
| 12 AC 電源 | 15 カメラ位置合わせノブ |

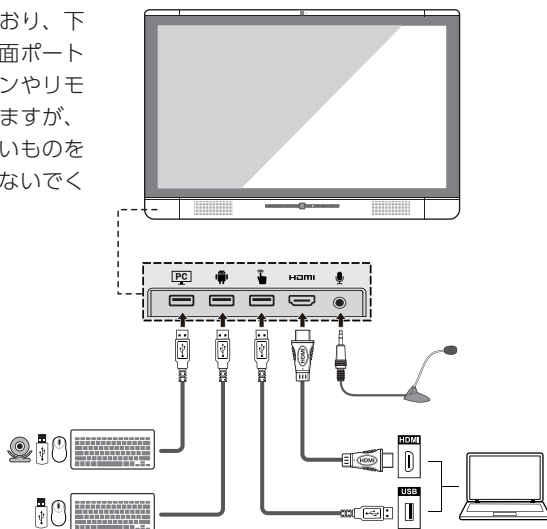
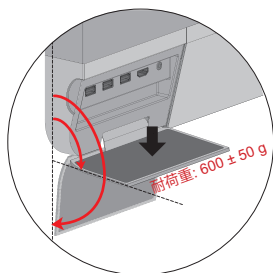
◆カメラ位置の上下微調整

背面のカメラ位置合わせノブにより、カメラの位置を上下に微調整することができます。

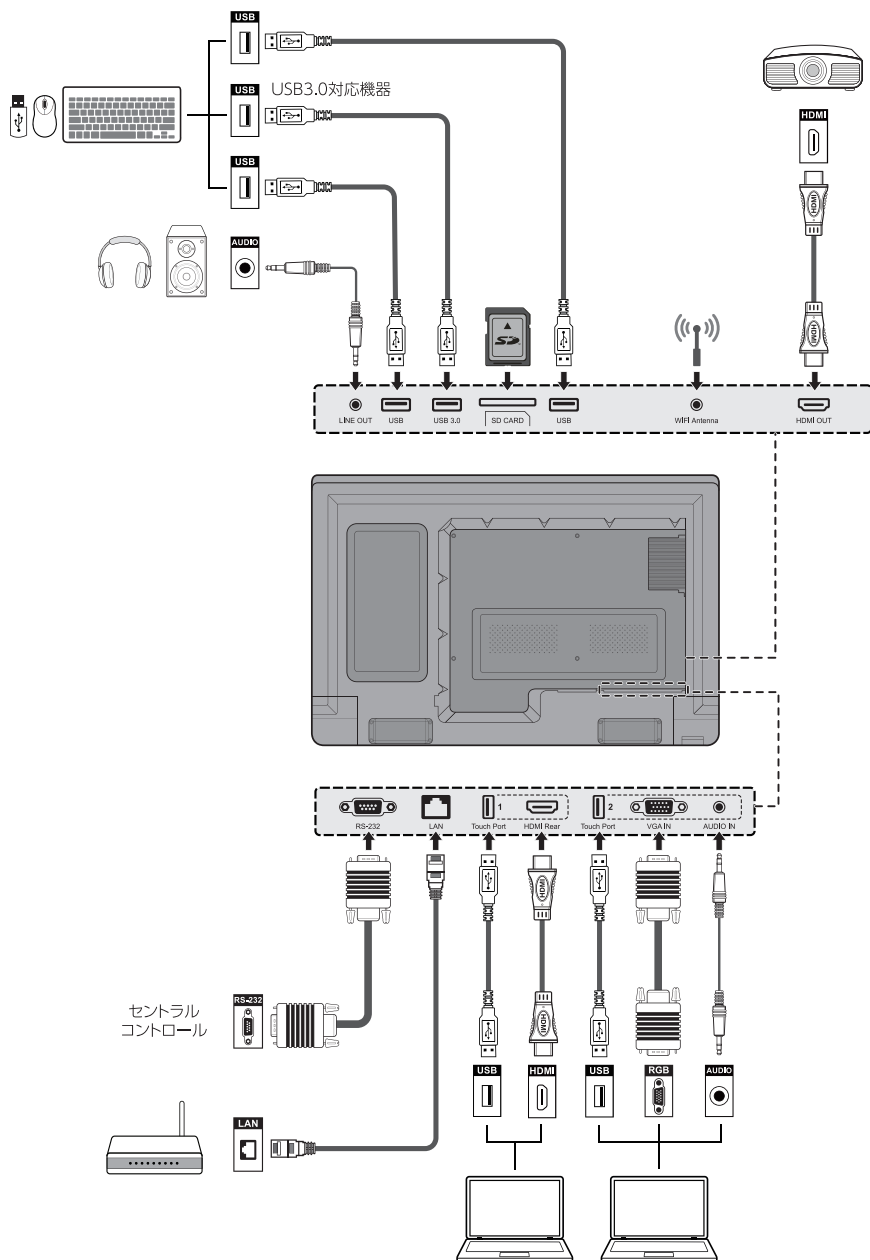
入出力ポート

◆前面ポート

製品左下部分は扉となっており、下方向に開くことにより、正面ポートが現れます。扉部分にはペンやリモコンなどを置くことはできませんが、故障の原因となるため、重いものを置いたり、過度な力をかけないでください。



◆背面ポート



◆コントロールパネル



ボタン	操作	機能	インジケーター
	短くタッチする	電源のオン / オフ	- 赤色に点灯：スタンバイモード - 白色に点灯：動作状態
	短くタッチする	音量を 1 レベル下げる	- 白色に点灯：リモコンや、ボタンからの信号を受信中 - 白色に点滅：継続的にボタンやリモコンからの信号を受信中 - 点灯なし：信号を受信していません。
	一秒以上長くタッチし続ける	音量を下げ続ける	
	短くタッチする	音量を 1 レベル上げる	
	一秒以上長くタッチし続ける	音量を上げ続ける	
	短くタッチする	メニュー画面を開く	
	短くタッチする	前に戻る / Exit	
	短くタッチする	ホーム画面へ戻る	

リモートコントロール

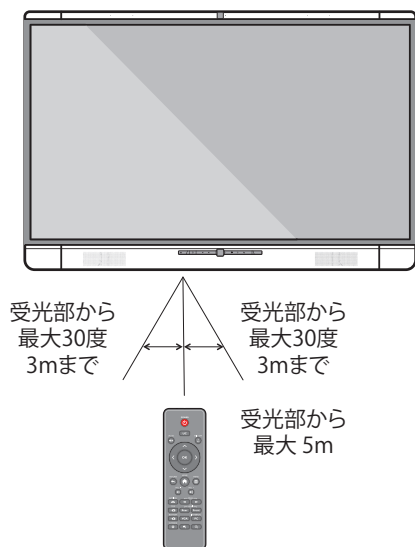
ボタン	機能
	電源オン / オフ
UC	設定したプログラムの起動
	ミュート
	マイクミュート
OK	決定
	上下左右へのカーソルの移動
	前に戻る / Exit
	ホーム画面に戻る
	メニュー画面を開く
	音量を下げる
	音量を上げる
	設定
	ページ戻し
	ページ送り
	上部カメラに切り替え
	下部カメラに切り替え
Front	前面 HDMI 入力端子へソース切替
Rear	背面 HDMI 入力端子へソース切替
VGA	VGA 端子へソース切替

ボタン	機能
PC	内部パソコン (OPS) へソース切替
	ディスプレイモードの切替
	ズームイン (パソコン)
	ズームアウト (パソコン)



◆リモコンでの操作に関して

リモコンは本体正面から最大約 5 メートル、リモコン信号受光口から上下左右 30 度の範囲でご使用いただけます。



注意

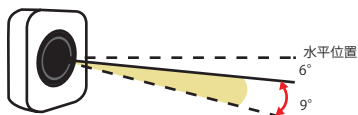
事故などの防止のために、下記の点をよくご確認の上、リモコンをご使用ください。

- ・ リモコンを落下させたり強い衝撃を与えないでください。
- ・ 液体をこぼさないでください。
- ・ 濡れた表面にリモコンを置かないでください。
- ・ 直射日光の当たる場所や高音の場所に放置しないでください。

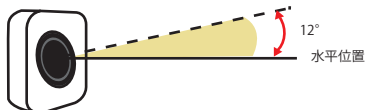
カメラ位置の微調整

本体背面上下にあるカメラ位置合わせノブにより、上下カメラの角度の微調整を行うことができます。調整可能な角度は下記の通りとなります。

上部カメラの角度調整



下部カメラの角度調整



B

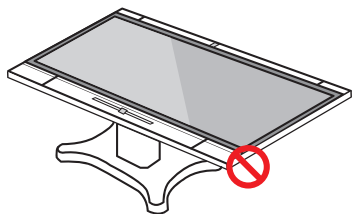
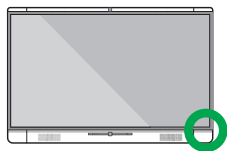
製品の設置に関する注意

安全に関する注意

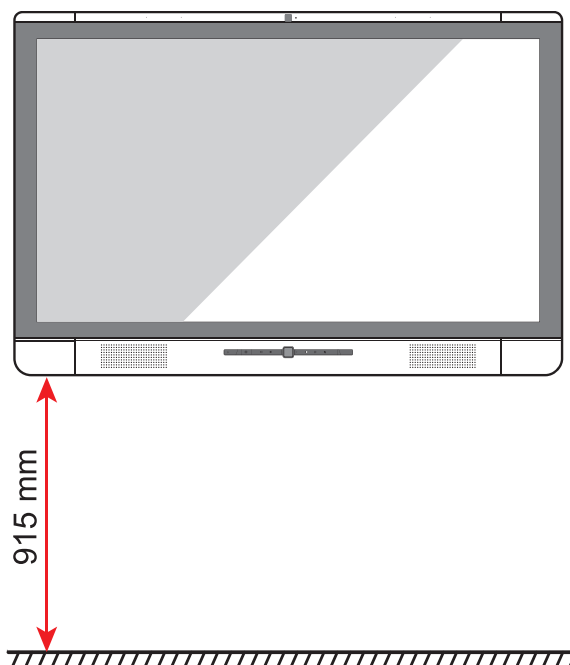
◆設置環境に関してのご注意



◆設置方向



◆設置高さ



設置に関する注意

◆重量に関して

- パネル裏面には VESA 準拠の取り付け穴が搭載されています。VESA 準拠のマウントシステムをご使用ください。
- 可動式カートを使用する場合、使用するカートの耐荷重が 72kg 以上であることをご確認ください。
- 本製品の質量：約 36kg
- 壁掛けブラケットをご使用の場合、壁に十分な耐荷重があるか事前にご確認ください。補強され、製品の約 2 倍の耐荷重のある壁への設置を推奨しております。詳しくは、壁掛けの設置業者へご確認ください。
- ドアなどの障害物がぶつかる可能性がある場所へ設置しないでください。

◆ベンチレーション

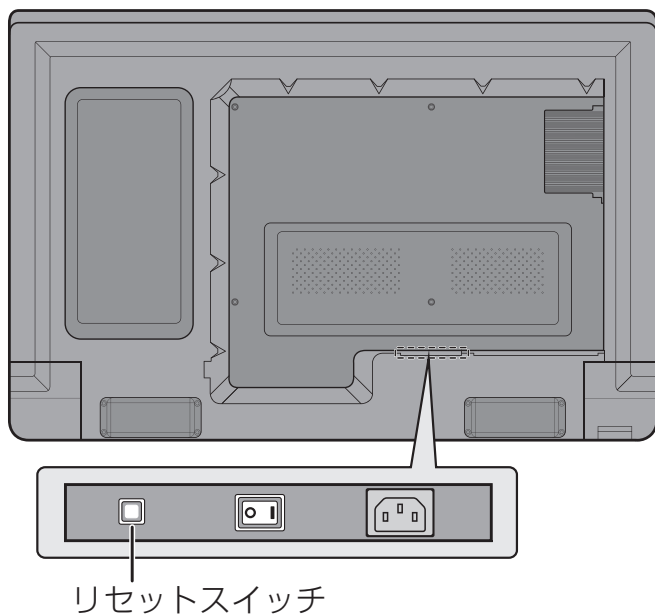
通気・放熱が十分にされる場所へ設置してください。設置場所の壁などとの間に図に示したスペースが空いていることをご確認ください。

◆高温での自動シャットダウン機能

使用中にパネル全体の温度が通気環境や使用時間などにより設定した温度（80 度）より上昇した場合、システムが検知をして内部回路の保護のため自動的にシャットダウンします。

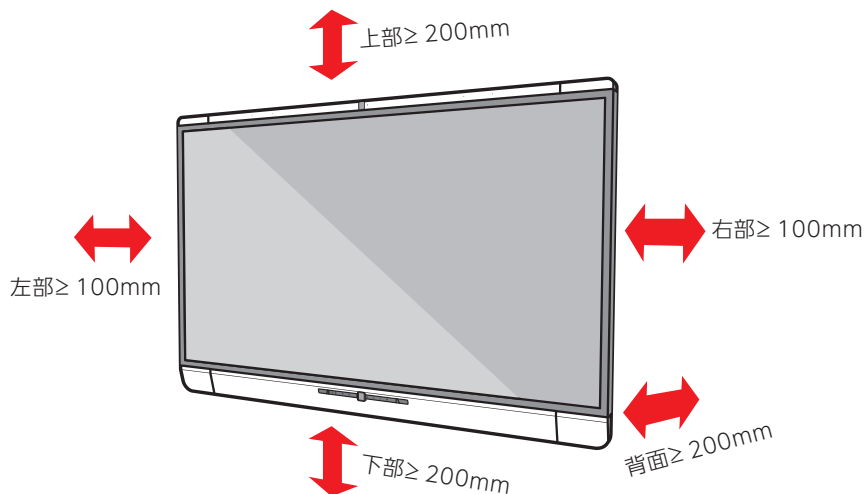
◆高温によるシャットダウンからの復帰方法

復帰方法：タッチスクリーンを電源に正しく接続したのち、下図が示す背面下部にあるリセットスイッチを押してください。（もし、シャットダウンの原因が通気環境によるものである場合、通気環境を改善させてからリセット作業をおこなってください。）



Tip:

輸送中のダメージを防ぐために工場出荷時などには保護がかかっていることがあります。初めてのセットアップの際には上記に従ってリセットをおこなってからインストレーションをおこなってください。



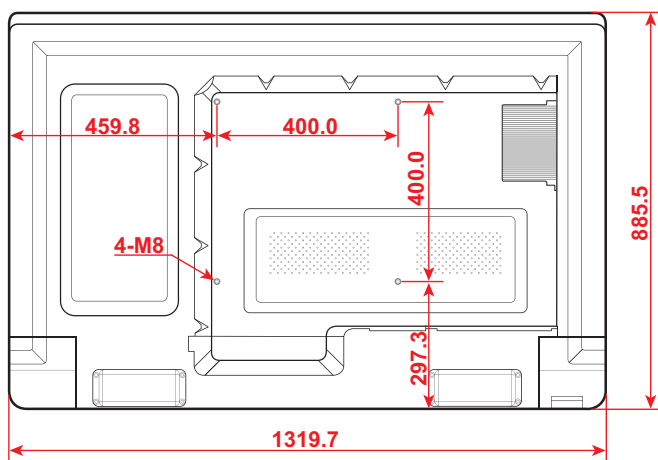
設置

背面の4つのマウント取り付け穴は VESA MIS-F に準拠しております。(400 x 400mm) 長さ 10mm~15mm の M8 のボルトにてタッチスクリーンをマウントにしっかりと固定してください。背面の各部寸法は下図の通りとなっております。



Note

取り付けは必ず専門業者でおこなってください。



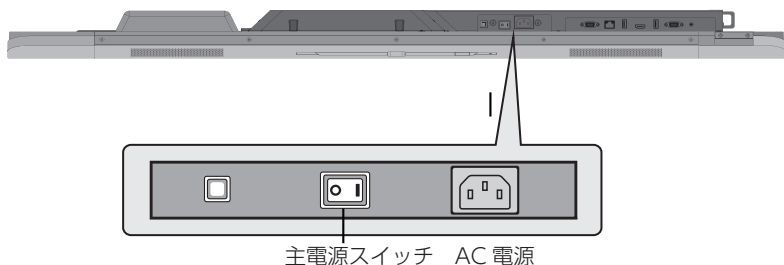
単位：mm

**注意**

- ・ 付属の電源コードは本製品専用です。他の製品に使用しないでください。
- ・ OPS（内蔵パソコン）が起動している時に、突然電源を切らないでください。故障の原因となります。

電源のオン

- Step 1: Wi-Fi アンテナをアクセサリボックスから取り出して、本体背面の Wi-Fi アンテナポートに時計回りに回して取り付けてください。
- Step 2: 内蔵パソコン (OPS) を接続します。方向に注意して、本体側面にある OPS スロットに OPS を差し込んでください。
- Step 3: M4 のネジを使って、OPS と本体を上下 2 か所で留めます。
- Step 4: 製品に付属の電源コードをコンセント及び製品背面下部のコネクターに接続してください。必ず電源が 100V、電源周波数帯が 50Hz/60Hz であることを事前にご確認ください。また、必ずアース接続をおこなってください。
- Step 5: 本体側面の主電源スイッチを入れてください。



※必ずプラグを根元までしっかりと挿入してください。

- Step 6: フロントパネルの電源ボタン  または、リモコンの電源ボタン  を押してください。

**注意**

OPS はホットプラグに対応しておりません。OPS の接続及び取り外しは必ず主電源を切った状態で行ってください。電源を切らずに行った場合、本体や OPS の破損の原因となります。

電源を切る

Step 1: フロントパネルの電源ボタン  または、リモコンの電源ボタン  を押します。ミーティング議事録保存画面が下図のように表示されます。



Step 2: フロントパネルの電源ボタン  または、リモコンの電源ボタン  を再度押します。ミーティングを終了の確認画面が下図のように現れます。



Step 3: ミーティング終了を選択すると、次ページの図のとおり、ミーティング開始のページに戻ります。



Step 4: フロントパネルの電源ボタン  または、リモコンの電源ボタン  を再び押してスクリーンの電源を切ります。パワーインジケーターランプが消灯します。

Step 5: 長期間本製品を使用しない場合、本体側面の主電源スイッチをオフにすることをお勧めいたします。



- ・タッチスクリーンがスタンバイ状態に入ってから主電源のスイッチを切ってください。突然主電源を切ると、製品の故障の原因となります。
- ・短い時間での電源のオン・オフは故障の原因となります。

NOTE

内蔵パソコン (OPS) が接続されている場合、OPS の電源はタッチスクリーンと連動しオン / オフします。

コントロールパネルのインジケーション

パワーインジケーターの詳細は下記の通りです。：

パワーインジケーター	状態
点灯無し	電源オフ
赤	スタンバイ状態
白	電源オン

キャリブレーション

実際にタッチしているポイントと、カーソルの表示箇所がずれている場合、キャリブレーションをおこなってください。下記の場合などにキャリブレーションをおこなう必要があります。

- タッチスクリーンに内蔵された OPS を初めて使用する場合
- HDMI や VGA ケーブルでパソコンを接続した場合

Note

Android システムはキャリブレーションは必要ありません。Windows 7 以降の OS を搭載した Windows デバイスのみキャリブレーションが必要となります。

もし、位置がずれている場合、下記をご確認の上、キャリブレーションをおこなってください。

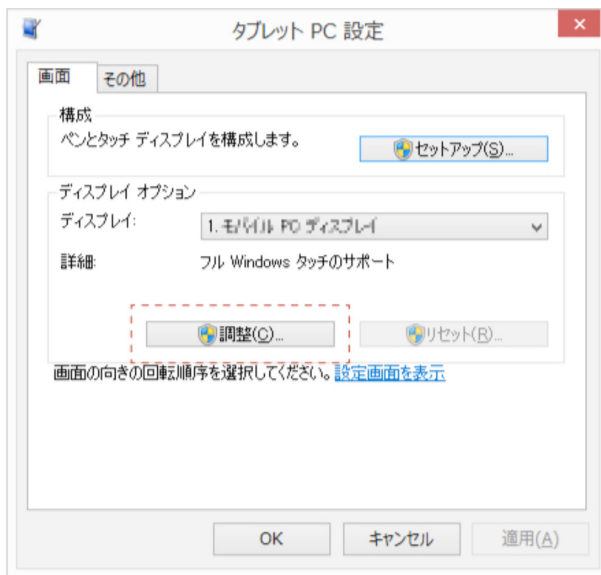
Step 1:HDMI ケーブルまたは VGA ケーブルが機器と正しく接続されているかご確認ください。

Step 2:正しく入力ソースが選択され、Windows の画面が表示されているかご確認ください。

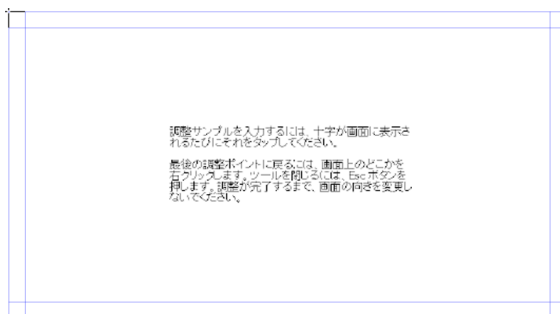
Step 3:コントロールパネルから「タブレット PC 設定」を選択してください。



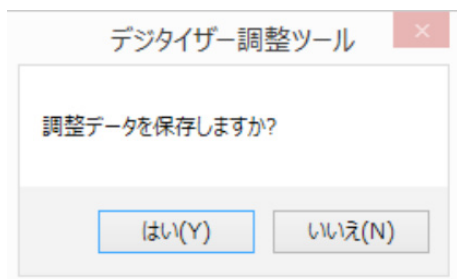
Step 4: タブレット PC 設定ウィンドウから「調整」  を選択してください。



Step 5: 指や鉛筆を使用して、点滅している十字の中央部分をクリックし、次のポジションに移動するまで押し続けてください。インストラクションに従ってキャリブレーションを完了させてください。



Step 6: 「はい」 を押してキャリブレーションを終了します。



 Tip:

- 手書き精度向上のために、キャリブレーションの際にダミーペンのご使用をお勧めいたします。
- キャリブレーションのエラーによりタッチスクリーンが通常通り作動しない場合、再度キャリブレーションをおこなってください。
- キャリブレーション時にキーボードのエスケープキー「ESC」で作業を中断することができます。
- OS のバージョンによりキャリブレーションの画面が異なる場合がございます。

Step 7: 再びタブレット PC 設定のダイアログボックスが表示されます。「OK」を押してキャリブレーションを完了します。

D

タッチスクリーンの操作

ホーム画面

本体に電源が投入されると、Figure 1 のようにスタート画面が表示されます。画面をタッチするとホーム画面に切り替わりミーティングを開始できます。

Figure 1 スタート画面

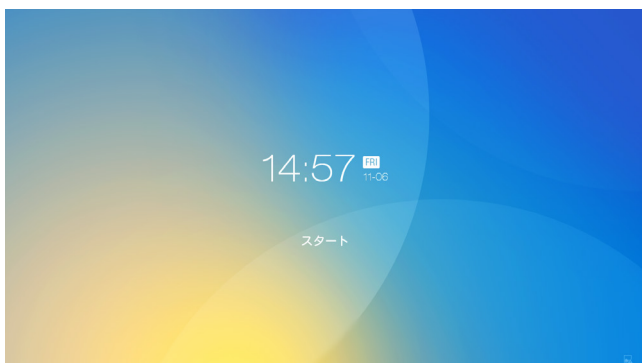


Figure 2 ホーム画面



• コラボレーション

事前に設定した UC プログラムなどをワンタッチで起動することができます。また、アイコン右上部の小さな三角をクリックすることでプログラムを 3 つまで登録できます。デフォルトのプログラムは最後に使用したプログラムとなります。

- **ホワイトボード**

ホワイトボード機能や、画面への書き込み機能をワンタッチで起動できます。

- **入力切り替え**

内蔵 PC、前面の HDMI 端子、背面の HDMI 端子、VGA の 4 つから表示する入力ソースを選択することができます。

- **外部メモリー**

USB ポートに接続した外部メモリーに保存されているデータを閲覧することができます。クリックするとファイルマネージャーが表示されます。

- **終了**

ミーティング終了時に「終了」をクリックします。一時保存されているミーティング時に作成した手書きメモやキャプチャーした画面のデータを保存するかを選択肢が現れます。ミーティングを終了すると、一時保存されているデータはすべて削除されます。

両サイドに配置されたクイックアクセスボタンに関して

-  : クリックすると、画面への手書きモードが起動します。再度クリックすると、手書きモードが終了し、スクリーンショットが作成されます。
-  : ホワイトボードを起動します。
-  : ホーム画面に戻ります。
-  : 一つ前の App に戻ります。 / Exit
-  : アプリケーションの切り替えをおこないます。

 Tip:

クイックアクセスボタンは押しながら移動させることで上下に移動可能です。

ミーティングアシスタント

- **Newline Assistant**

- ◆ **Newline Assistant について**

Newline Assistant は Windows システムのアプリケーションを Android システムに登録し、ワンボタンで Android システムから起動するためのツールです。

- ◆ **インストール方法**

Step 1: 内蔵パソコン (OPS) を正しく接続します。

Step 2: ホーム画面で「入力切り替え」を選択します。

Step 3: 「入力切り替え」で「内蔵 PC」を選択し、Windows の画面を表示させます。

Step 4: www.newline-interactive.com へアクセスし、画面右上の言語切り替えで日本語を選択し、製品>タッチスクリーン> Xシリーズと進み、「X series assistant ダウンロード」のタブから「Newline Assistant」をダウンロードしてください。

Step 5: インストラクションに従い「Newline Assistant」をインストールしてください。

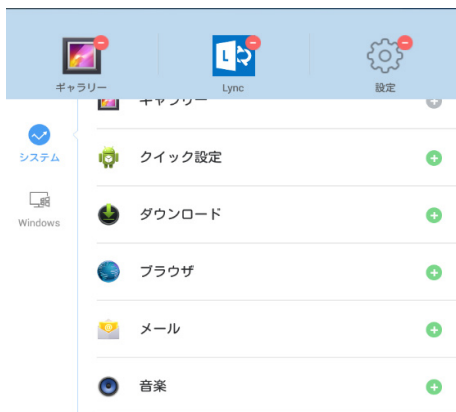
● アプリケーションの切り替え

ホーム画面にて「コラボレーション」をクリックし前回使用したアプリケーションをワンクリックで起動することができます。または、右上の小さな三角をクリックすることで、リストを表示させ登録しているアプリケーションを起動することができます。



● アプリケーションの追加と削除

ミーティングソフトウェアを変更するには、「コラボレーション」の右上にある小さな三角をクリックし、「追加」をクリックします。下図が示す通りカスタマイズページからアプリケーションの追加と削除をおこなうことができます。



Note

左側のナビゲーションエリアの Windows アイコンは内蔵 PC (OPS) が接続されている場合のみ使用することができます。

◆ Android システムのアプリケーションを追加

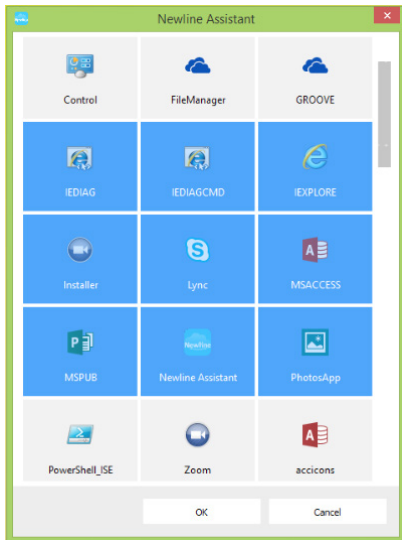
Step 1: カスタマイズページで  をクリックし、Android システムのアプリケーションのリストを確認することができます。

Step 2: アプリケーションリストにてアプリケーション右側の  をクリックすると、そのアプリケーションを追加登録することができます。最大 3 つまでアプリケーションを登録することができます。追加されたアプリケーションは  と表示されます。

Step 3: ホーム画面に戻り、「コラボレーション」の右上の小さな三角をクリックすると、追加されたアプリケーションがメニューに表示されます。最後に使用したアプリケーションは、「コラボレーション」ボタンの下部分に表示され、ワンクリックで起動することができます。

◆ Windows システムのアプリケーションを追加

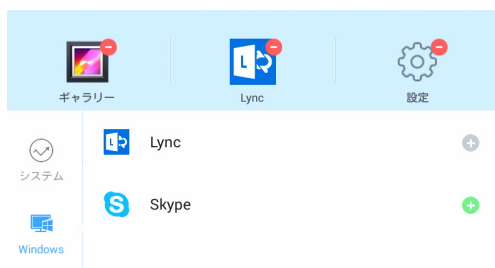
Step 1: Windows システムにて Xseries assistant アプリケーションを起動し、X series assistant のウィンドウに表示したいアプリケーションを選択します。



Step 2:  をクリックしてホーム画面に戻ります。「コラボレーション」の右上の小さな三角をクリックし、「追加」を選択してカスタマイズページを表示します。



Step 3: カスタマイズページにて Windows アイコン  をクリックし、Step 1 で追加された Windows アプリケーションを表示します。



Step 4: アプリケーションリストにてアプリケーション右側の  をクリックすると、そのアプリケーションを追加登録することができます。最大 3 つまでアプリケーションを登録することができます。(Andorid と Windows のアプリケーションの合計) 追加されたアプリケーションは  と表示されます。

Step 5: ホーム画面に戻り、「コラボレーション」の右上の小さな三角をクリックすると、追加されたアプリケーションがメニューに表示されます。最後に使用したアプリケーションは、「コラボレーション」ボタンの下部分に表示され、ワンクリックで起動することができます。

Tip:

X series assistant を正しく起動するためには、Microsoft Visual C ++ Redistributable (x86) がインストールされている必要があります。

◆ アプリケーションの削除

アプリケーションのカスタマイズページにてアプリケーションの右上の  をクリックすると、アプリケーションを登録プログラムから削除することができます。アプリケーション削除後にアプリケーション右部の表示が  から  に変わります。

ホワイトボード

● 手書き入力

ホワイトボードページにて、ペンの種類や太さ、色などを変更することができます。また、選択したコンテンツやすべてのコンテンツを削除することができます。

● ファイルマネージメント

ファイルのプレビューや、選択、コピー、削除をおこなうことができます。

ホワイトボードを使用するにはホーム画面の「ホワイトボード」をクリックします。



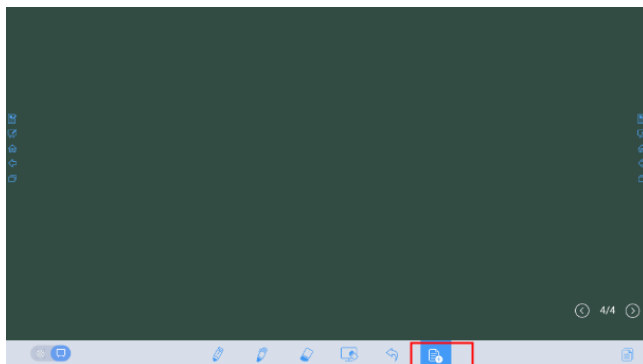
No.	アイコン説明
1	ホワイトボードモードと画面への手書きモードの切り替え
2	ペン
3	蛍光ペン
4	消しゴム
5	クリア
6	元に戻す
7	新しいスライドの作成 Note: ホワイトボードモードのみ。画面への手書きモード時は  アイコンは  (スクリーンショット) に変わります。詳しくは「モード切替」に関しての項をご確認ください。

- ホワイトボード機能に関して

- ◆ 新しいスライドの作成及び設定

- 新しいスライドの作成

ホワイトボードモード時に  をクリックし新しいスライドを作成します。
最大 20 枚のスライドを作成することができます。



- スライドの設定

 を長押しすると新しいスライドの背景を変更することができます。

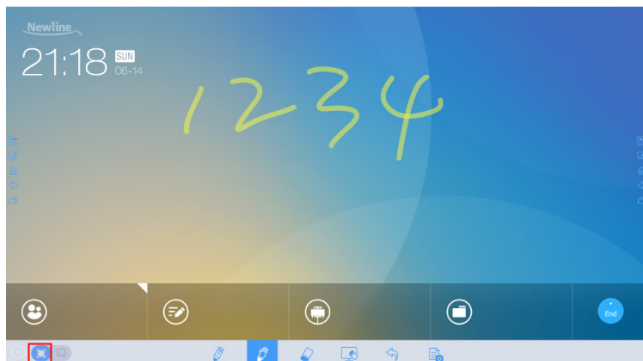


◆ モード切り替え

画面左下の  および  アイコンのクリックで、ホワイトボードモードと画面への手書きモードの切り替えをおこなうことができます。

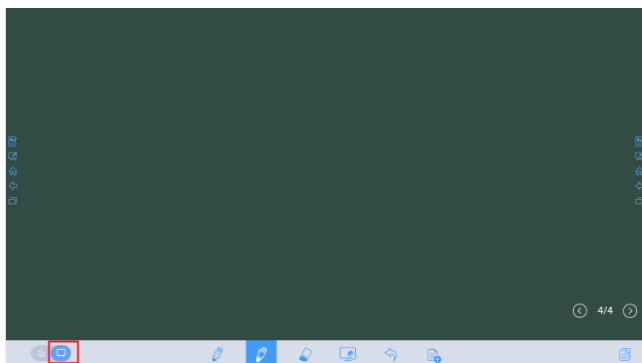
- : 画面への手書きモード

背景が透明になり、表示されている入力信号の画面の上に手書きデータを挿入することができます。Word や PowerPoint や写真などの画面上にそのまま手書きすることができます。



- : ホワイトボードモード

背景が単色となり、ミーティングの議事録など、様々なコンテンツを自由に書くことができます。



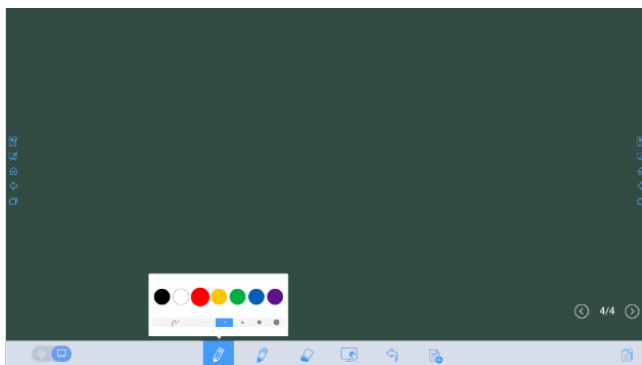
◆ ペンの種類

ホワイトボードではペン  と蛍光ペン  の 2 種類のペンを使用することができます。

- ペン：文字などの書き込みに使用。
- 蛍光ペン：半透明で、アンダーラインでの強調などに使用。

◆ 線の太さと色

 や  のボタンを押し続けると、線の太さや色の変更画面が現れ、設定を変更することができます。



◆ 消しゴム

手書きデータの一部分を消したい場合、下記の2つの方法でおこなうことができます。

- 5本の指でジェスチャー：5本の指で同時に画面をタッチすると、囲まれた部分が点線で作られた円となり、消しゴムとして使用することができます。円を動かして消したコンテンツを削除します。
-  をクリックして消しゴムを起動します。 を長押しすると消しゴムの大きさを変更することができます。



◆ スクリーンショット

画面への手書きモード時に  でスクリーンショットを撮影し、画像として保存することができます。ミーティング終了後に Figure 4 の通り一時保存しているすべてのスクリーンショットを外部メディアへの保存や、メールで送信を行うことができます。

Figure 3 スクリーンショット

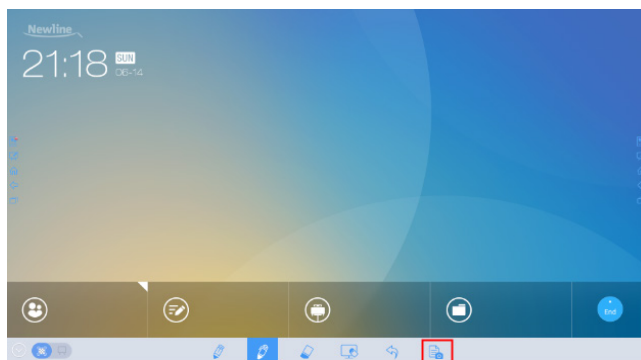
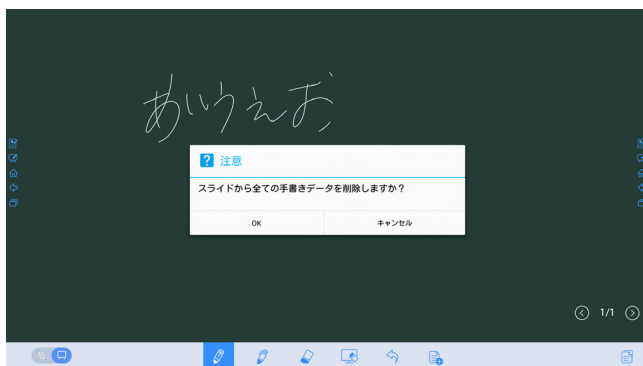


Figure 4 手書きデータの保存



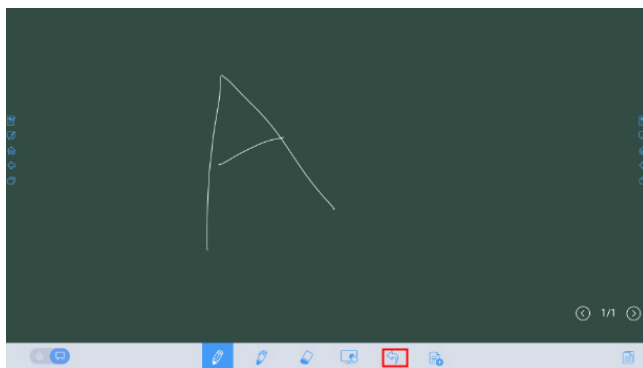
◆ クリアする

ホワイトボードモード時に  をクリックすると、現在の手書き内容をすべてクリアすることができます。



◆ 元に戻す

ホワイトボードモード時に  をクリックすると、一つ前の操作をキャンセルし、状態を元に戻すことができます。



● スライド操作

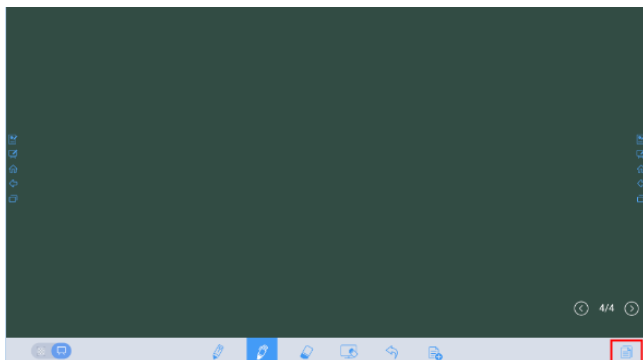
手書きしたスライドのプレビュー、選択、削除などをおこなうことができます。

◆ スライドのプレビュー

ホワイトボードの右下のアイコン  をクリックします。すべての手書きしたスライドのデータが表示されます。スライドをクリックするとそのスライドにページを切り替えることができます。

Note

一度にプレビュー表示できるのは8つのスライドまでです。指で右から左にスワイプすることで、次のスライドのプレビューに切り替えることができます。



◆ スライドの選択及び削除

☰ をクリックすると ✓ および 🗑 が表示されます。スライドの選択、または、削除をおこなうことができます。

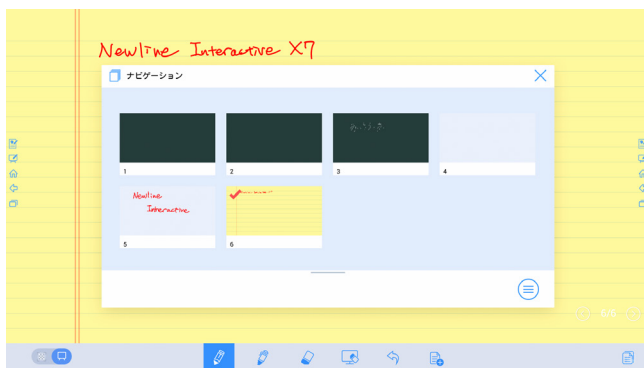
- スライドをクリック：そのスライドに画面が切り替わります。

- ✓ をクリック：すべてのスライドを選択します。

- 🗑 をクリック：選択したスライドを削除します。

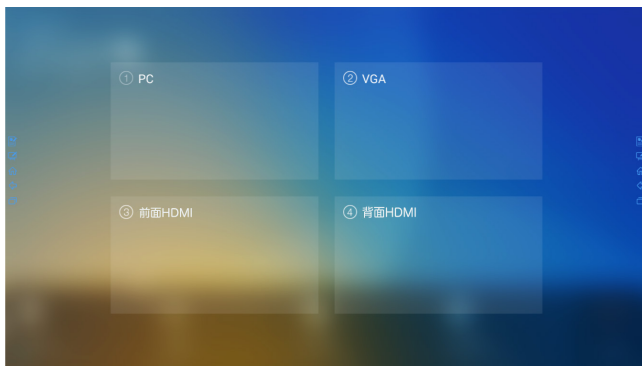
- ✕ をクリック：左側のボタンが ☰ に切り替わります。

- ✕ をクリック：ナビゲーションページを終了します。



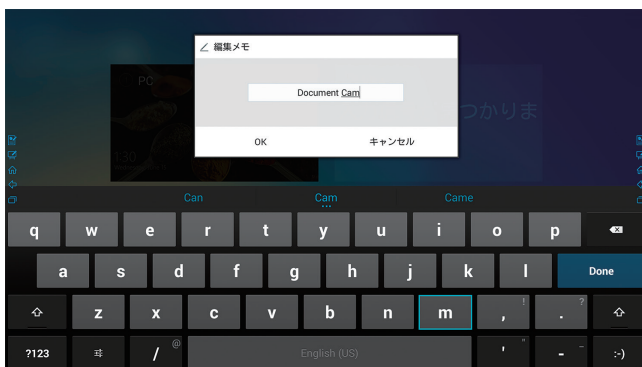
入力信号

ホーム画面で「入力切り替え」をクリックすると入力信号選択の画面に切り替わります。信号が出力されているソースのプレビューを確認することができます。信号がソースから出力されていない場合は何も表示されません。出力したいソースをクリックすると、全画面表示に切り替えることができます。



Tip:

各入力ソースのプレビュー画面を長押しすることで、編集メモに移行します。



編集メモ画面にて、それぞれの入力ソースの名称を任意なものに設定することができます。



外部メモリー

本製品は外部メモリーの接続に対応しております。ホーム画面の「外部メモリー」をクリックすると、接続されているSDカードやUSBフラッシュメモリーに保存されているファイルを閲覧することができます。

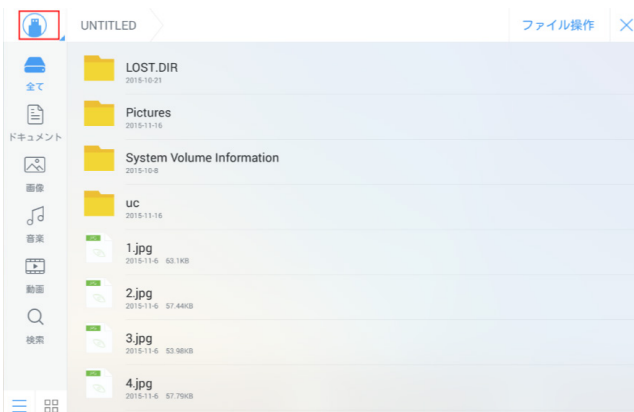
• 外部メモリーページ

ホーム画面時に「外部メモリー」アイコンをクリックします。



• ファイルプレビュー

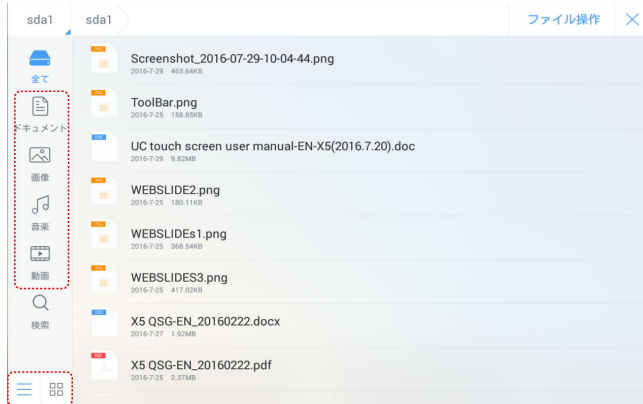
ビューアー左上の  をクリックし、Android システム用 USB ポートに接続されている外部メモリーの中から、データを閲覧したい外部メモリーを選択することができます。



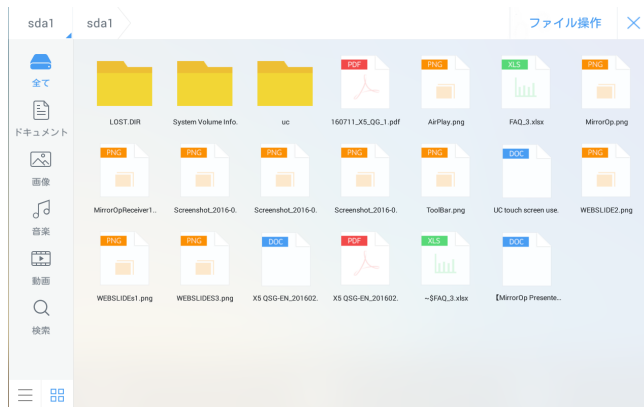
● ファイルのフィルタリング

ファイルプレビュー機能では、ドキュメント、画像、音楽、動画の各データをカテゴリー別に表示することができます。ツールバーの左部分のアイコンをクリックしてください。ファイル表示はリスト表示とサムネイル表示の2通りの方法があり、ビューアーの左下の ≡ および □□ で表示方法を切り替えることができます。

< リスト表示 >

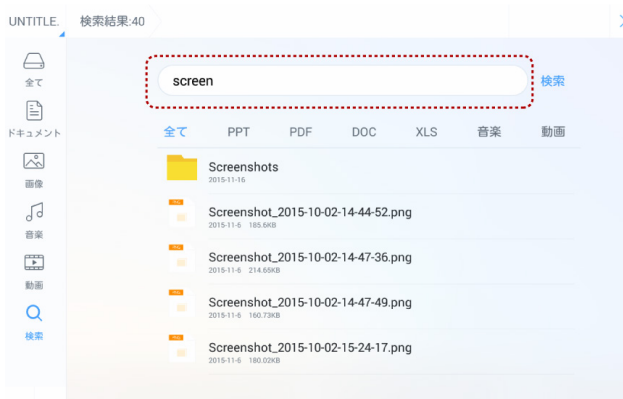


< サムネイル表示 >



● ファイル検索

検索アイコン  をクリックして、検索ボックスにファイル名の一部を入力し、検索することで、キーワードにマッチしたファイル名がリスト表示されます。



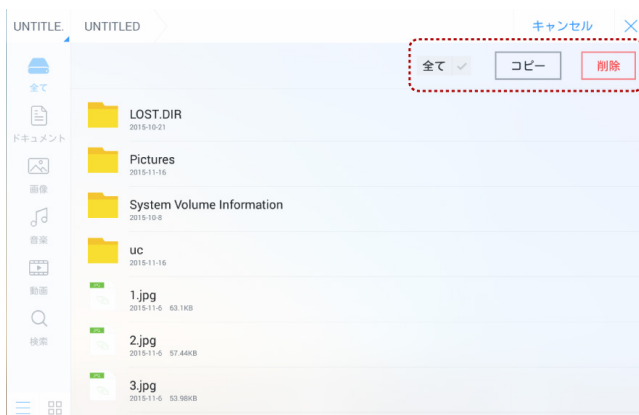
キーワード検索後に、ファイルの種類でのフィルタリングを行うこともできます。フィルタリングできるファイルの種類は PPT(パワーポイント)、PDF、DOC(ドキュメント)、XLS(エクセル)、音楽、動画となります。



● ファイル操作

「ファイル操作」をクリックすると、ストレージ内のファイルに対して、すべてのファイルの選択、ファイルの選択、コピー、削除、キャンセルなどの操作をおこなうことができます。

- ファイルをクリック：クリックしたファイルを選択します。
- 全て：すべてのファイルを選択します。
- コピー：選択したファイルをコピーします。
- 削除：選択したファイルを削除します。
- キャンセル：操作をキャンセルします。



ミーティングの終了

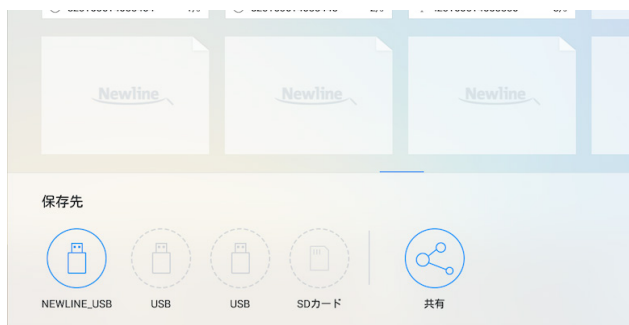
● 手動でのミーティングの終了

ホーム画面で **終了** をクリックします。「ホワイトボードデータを保存」のページが表示されます。終了すると、ミーティングが終了し、タイマーが止まります。

◆ ファイル名に関して

ミーティング中に作成された手書きデータやスクリーンショットなどのスライドを保存します。

スライドは作成された時間がファイル名になっております。指で右から左にスワイプすることで、次のスライドのプレビューに切り替えることができます。



◆ 外部メモリーへの保存

USB フラッシュメモリーや、SD カードが外部メモリーとして接続されていない場合、保存先のアイコンがグレーで、外部メモリーが接続されている場合、ブルーで表示されます。ブルーのアイコンをクリックすると、選択した外部メモリーのルートフォルダーに「uc」というフォルダーが追加され、選択したスライドが保存されます。保存が終了するまで、保存先の外部メモリーが取り外さないでください。

◆ メールでの配信

X7 がネットワークに接続されている場合、保存した手書きデータやスクリーンショットをメールで配信することもできます。

初めてメールでの配信を行う際には、送信元のメールアカウントを登録する必要があります。

メール配信したい画像を選択した後に、「共有」をクリックすると、メール作成の画面に移行します。



「To」に送信先のメールアドレスを入力し、「送信」をクリックします。



- 「戻る」：ミーティングを継続します。ファイルは削除されず、タイマーはカウントを続けます。
- 「終了する」：ミーティング終了の確認のダイアログが表示されます。
 - － 「確認」をクリックすると、製品の内部メモリに保存されているスライドやスクリーンショットは全て削除され、スタート画面に戻ります。(外部メモリに保存していないデータは全て削除されます。必要なデータは外部メモリに必ず保存してください。) ミーティングが終了し、タイマーがストップします。
 - － 「キャンセル」をクリックすると、ミーティングが継続され、「ホワイトボードデータを保存」の画面に留まります。

Note

32GB 以上の USB フラッシュメモリや SD カード、または FAT32 以外のフォーマットの場合、正しくスライドデータが保存されない場合があります。



設定のショートカットおよびアプリケーション

スクリーンの中央上部分の際から下方向に 1 本指で画面の 3 分の 1 程度程度スワイプすると、設定とアプリケーションのショートカットが現れます。



● 設定のショートカット

スライドして現れる設定のショートカットページの初期画面は下図のとおりとなります。



◆ 時計の設定

アイコン (+) を押すとタイムゾーンを追加することができます。時刻表示形式をクリックすると、時刻の表示方法をアナログ、デジタルから選択することができます。



◆ 明るさの調整

 アイコン横のスライダーを左右にドラッグして、明るさを調整することができます。



◆ 音量の調整

 アイコン横のスライダーを左右にドラッグして、音量を調整することができます。



◆ マイクフォンミュートモード

 をクリックするとマイクフォンのオン / オフ（ミュート）の操作をおこなうことができます。マイクフォンのミュート時には、画面右上にマイクフォンのミュートを表すアイコンが表示されます。



◆ スピーカーミュートモード

 をクリックすると、スピーカーのオン / オフ（ミュート）の操作をおこなうことができます。スピーカーのミュート時には、画面右上にスピーカーのミュートを表すアイコンが表示されます。



◆ カメラ設定

 をクリックすると、上下に搭載されたカメラのうち、どちらを使用するかを選択することができます。アイコン中の矢印が上を向いている場合、上部のカメラが選択されています。アイコン中の矢印が下を向いている場合、下部のカメラが選択されています。



◆ システム設定

 をクリックすると、システム設定画面へと移行します。下図の赤枠で囲まれた各種設定をおこなうことができます。



● アプリケーション

設定のショートカット画面で「アプリケーション」をクリックすると、Android システムのアプリケーション一覧が表示されます。アプリケーションが全て表示できない場合、左右へスワイプすることにより、残りのアプリケーションを表示することができます。



E

シリアルポートコントロール

RS-232 ポートにパソコンやコントロールデバイスを接続します。RS-232 シリアルポート接続を有効にし、下記のコンフィギュレーションをおこないます。

Port: COM1 (パソコンまたはコントロールデバイスのポート番号により設定)			
Bit rate	19200	Odd/even check	None
Data bits	8	Stop bit	1

下記の表は各機能のコントロールコードとリターンコードです。

機能	コントロールコード	リターンコード
電源オン	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 00 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 00 01 CF 00
電源オフ	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 01 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 01 01 CF
ミュート	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 02 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 02 01 CF
信号ソース	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 06 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 06 01 CF
ホワイトボード起動	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 07 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 07 01 CF
ディスプレイステータス	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 09 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 09 01 CF
前面 HDMI	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 0A CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 0A 01 CF
背面 HDMI	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 0B CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 0B 01 CF
内部 PC (OPS)	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 38 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 38 01 CF
VGA	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 0D CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 0D 01 CF
ページアップ	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 13 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 13 01 CF
ページダウン	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 14 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 14 01 CF
音量を下げる	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 17 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 17 01 CF

機能	コントロールコード	リターンコード
音量を上げる	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 18 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 18 01 CF
メニュー	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1B CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1B 01 CF
ホーム画面	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1C CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1C 01 CF
戻る /Exit	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1D CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1D 01 CF
自動調整	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 20 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 20 01 CF
OK	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2B CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2B 01 CF
←	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2C CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2C 01 CF
→	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2D CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2D 01 CF
↑	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2E CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2E 01 CF
↓	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2F CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2F 01 CF
フリーズ	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 3B CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 3B 01 CF
ボリューム設定	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 05 XX CF □ Note: XXはボリュームの値 (0 to 100) 00 から 64 までの 16 進数に対応	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 05 XX 01 CF
D.MODE 設定	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 06 XX CF □ Note: XXはモード。00 と 01 はそれぞれ スタンダードモードとエコモード	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 06 XX 01 CF
ファームウェアバージョン確認	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 3D CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 3D 01 CF
ディスプレイモード設定	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 07 XX CF □ Note: XXはモードで、00、01、02、03は それぞれスタンダード、ブライต์、ソ フト、カスタムモード	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 07 XX 01 CF

機能	コントロールコード	リターンコード
デフォルトのUCプログラム起動	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 3F C F	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 3F 01 CF
手書き開始	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 40 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 40 01 CF
マイクロフォンミュート	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 41 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 41 01 CF
カメラ切り替え	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 08 XX CF □ Note: ● XX=01 は上部カメラが起動 ● XX=02 は下部カメラが起動	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 08 XX 01 CF
バックライト明るさ +	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 47 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 47 01 CF
バックライト明るさ -	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 48 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 48 01 CF
バックライト明るさ設定	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 09 XX CF □ Note: XX はバックライトの値 明るさ (0-100) は 16 進数に対応 (00-64)	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 09 XX 01 CF
カメラポジション読み込み	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 44 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 44 XX CF □ Note: ● XX=01 は上部カメラが起動 ● XX=02 は下部カメラが起動
マイクロフォンステータス	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 45 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 45 XX CF □ Note: ● XX=01 はマイクロフォンがミュート ● XX=02 はマイクロフォンがミュート以外の状態
バックライト明るさ値読み込み	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 49 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 49 XX CF □ Note: XX はバックライトの明るさ (0-100) 16 進数に対応 (00-64)

製品型番	X5
ディスプレイ部	
バックライト	LED
表示画面サイズ	1209.6 x 680.4mm
液晶サイズ	55"
アスペクト比	16 : 9
解像度	1920 x 1080Pixel
表示色	8-bit 1670 万色
輝度	370cd/m2 (最大)
コントラスト比	4000 : 1
応答速度	8 ms
寿命	約 30,000 時間
スピーカー部	
スピーカー位置	前面
インピーダンス	8 Ω ($\pm$ 15%)
再生周波数帯	80Hz($\pm$ 20%) $\sim$ 18kHz
音圧レベル	82 $\pm$ 3dB
最大出力	10W x 2
マイクروفオン部	
感度	-28dB $\pm$ 3dB
周波数特性	100Hz $\sim$ 7.75KHz
指向性	無指向性
歪み率 (THD)	less than 1% at 6dB SPL
集音範囲	8m
マイクروفオン数	4
カメラ部	
カメラ位置	上部 x 1、下部 x 1 (上下同時使用不可)

センサー	200 万画素
レンズ	86°
ビデオ解像度	1920 x 1080@30fps (最大)
フレームレート	30fps/60fps
電源部	
消費電力	最大 < 180W スタンバイモード時 ≤ 0.5W
電源	AC 100V、50Hz/60Hz
タッチコントロール部	
表面	強化ガラス
透明度	> 89%
硬度	≥ 8 H
タッチセンサー	TruFlat
HID サポート	HID
マルチタッチ	Windows: 10 ポイントマルチタッチ / Android: 5 ポイントマルチタッチ (3 ポイント同時書き込み、 5 ポイントで消しゴム機能)
入力方法	指または Newline Stylus
タッチ入力解像度	19354 x 10866
スキャンスピード	100Hz
入力精度	1mm
輸送・保管	
保管温度・湿度	-10℃ ～ 50℃ /10% ～ 70%
動作温度・湿度	5℃ ～ 40℃ /20% ～ 70% (結露しないこと)
マウント	壁掛け / スタンド (別売り)
製品外形寸法	1320 x 886 x 87mm
梱包外形寸法	1470 x 995 x 265mm
ポート部	
前面インターフェイス	マイクロフォン (3.5mm) x 1/ HDMI x 1/ USB(タッチコントロール) x 1/ USB(OPS 用) x 1/ USB(Android 用) x 1

AV 入力	HDMI x 1/ VGA x 1/ USB(タッチコントロール用) x 2/ 音声入力端子 x 1
AV 出力	3.5mm 音声出力端子 x 1/ HDMI x 1 (映像のみ)
その他	USB2.0 x 2/ RS232 x 1/ RJ45 x 1/ USB3.0 x 1/ SD カードスロット /OPS スロット
その他機能	
自動温度検知機能	あり
Wi-Fi	内蔵
スマートシステム部	
チップセット	ARM Cortex A9 Quad Core 1.5GHz
RAM	2GB
Flash	8GB
マルチメディアフォーマット	写真 : JPEG, BMP, PNG 動画 : MPEG1, MPEG2, MPEG4, H.264, H.265, RM, RMVB, MOV, MJPEG, VC1, DivX, FLV (Support 1080P, 4K HD Decoding) 音楽 : MP3, M4A, (AAC)
内部 PC (OPS)	
CPU	i5-4210M 2.6 GHz
GPU	Intel HD 4600
RAM	8 GB DDR3 1600 MHz
Hard Disk	128 G SATA3 SSD
USB 2.0 /3.0	4 / 2
HDMI Out	1
LAN	1 x 10/100/1000M
Microphone in	1
Line Out	1
SPDIF Out	1
Build-in WIFI	802.11b/g/n

製品仕様は予告なく変更になる場合がございます。製品に関する詳しい情報は Newline Interactive 国内代理店までお問い合わせください。



同梱品リスト

項目	数量
X5 製品本体	1
リモートコントローラー	1
リモートコントローラー用単 4 乾電池（テスト用）	2
電源コード（日本国内専用）	1
HDMI ケーブル	1
USB ケーブル	1
クイックガイド	1

開梱時に不足している同梱物をございましたら、販売店または弊社国内代理店までご連絡いただきますようお願いいたします。



よくある質問

症状	主な原因	解決方法
電源が入らない。	電源ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。	電源ケーブルが正しく接続されているか再度確認してください。
	主電源スイッチがオフになっている可能性があります。	本体背面の主電源スイッチをオンにしてください。
	リモコンの信号を本体が受信していない可能性があります。	●電池を交換してください。 ●リモコン上部にある信号を発信する部分に汚れなどがないか確認してください。 ●電池接点部分に汚れなどがないかを確認してください。
	温度センサーによる保護スイッチが起動している可能性があります。	使用中に通気などの原因により、パネルが高温になった場合、保護スイッチが起動します。通気環境などを改善させた後に、本来背面の温度センサーリセットスイッチを押して解除してください。
電源を入れるたびにキャリブレーションが必要。	パソコンにリカバリーカードが挿入されている可能性があります。	パソコンのプロテクトを解除して再度キャリブレーションをおこなってください。
プログラムに接続できない。	ドライブプログラムが正しくインストールされていない可能性があります。	プログラムをインストールしなおしてください。
	USB ポートに正しく接続されていない、または USB ケーブルが断線している可能性があります。	USB ケーブルを交換して USB ポートに問題がないか確認してください。
カーソルの位置がずれている。	キャリブレーションが正しくおこなわれていない可能性があります。	本取り扱い説明書を参照して、キャリブレーションを再度おこなってください。
接続したパソコンのタッチコントロールができない。	正しく接続が行われていない可能性があります。	タッチコントロールを行う場合、HDMI ケーブルでの接続の他に、USB ケーブルをタッチポートに接続する必要があります。前面の HDMI 入力端子に接続したパソコンは前面のタッチポート、背面の HDMI 入力端子に接続したパソコンはタッチポート 1、VGA 入力端子に接続したパソコンはタッチポート 2 にそれぞれ接続を行ってください。

症状	解決方法
音声も映像も出力されない。	● 電源ケーブルが本体及びコンセントに正しく接続されているか、電源スイッチがオンになっているか確認してください。 ● 本体背面の主電源スイッチがオンになっているか確認してください。 ● 本体正面コントロールパネルの電源スイッチがオンになっているか確認してください。 ● 外部機器との接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ● 入力ソースが正しいものに選択されているか下記人してください。 ● 明るさやコントラスト比の設定が正しくされているか確認してください。 ● 音量が小さくなっていないかまたはミュートになっていないか確認してください。
映像は出力されているが、音声が出力されない。	● 音量が極端に小さくなっていないか確認してください。 ● リモコンの「Mute」ボタンが押されていないか確認してください。 ● 音声ケーブルなどが正しく接続されているか確認してください。
通信先の相手に自分の声が届かない。	● マイクがミュートになっていないか確認してください。マイクのミュートは付属のリモコンで解除することができます。 ● 使用している UC ソフトウェア上で、マイクがミュートになっていないか確認してください。ソフトウェア上のミュートの解除はソフトウェアから行うことができます。 ● 書画カメラなどを USB 接続している場合、使用している UC ソフトウェアの音声入力が書画カメラのマイクに選択されている可能性があります。
映像が出力されない、または白黒で出力される。	● 色の設定に問題がないかご確認ください。 ● カラーシステムに問題がないかご確認ください。
イメージや映像にノイズが入る。	● 周りに電磁干渉を起こす可能性のある電子機器がないかご確認ください。ある場合はどちらかの機器の場所を移動するなどの処置をおこなってください。 ● 電磁干渉を起こす可能性のある機器と使用するコンセントを離してください。
リモコンでの操作ができません。	● 電池を交換してください。 ● リモコン上部にある信号を発信する部分に汚れなどがいないか確認してください。 ● 電池接点部分に汚れなどがいないかを確認してください。
OPS が起動できない。 (OPS 内蔵モデルのみ)	● OPS が本体に正しく接続されているか確認してください。 ● OPS の電源がオフになっていないか確認してください。
Newline series assistant が正しく起動できません。	● X series assistant を正しく起動するためには、Microsoft Visual C ++ Redistributable (x86) がインストールされている必要があります。インストールされていない場合、インストールして再度お試しください。

下記の症状は故障ではありません。:

- タッチスクリーンは非常に高精度な技術で作られています。画面の一部にドット抜け(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。また、見る角度によっては色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。
- バックライトの調整時や通気時に小さな音が発生する場合がございますが、故障ではありません。
- LCD や背面のカバーを触れた際に静電気を感じる場合がございますが、故障ではありません。



最新の情報に関しては

Newline 製のその他製品に関する情報や、最新の情報に関しては弊社ホームページをご確認ください。

URL : www.newline-interactive.com

